

姉妹都市ニューポート市訪問滞在記

下田中学校の生徒4名による、アメリカという異国の地にて体験した報告です。



ザイニューポート市長（訪問時）と市訪問団



あおきひなた
青木陽菜葵さん

今回の訪問は私にとって初めての海外でした。訪問に向けての準備もわからないことばかりで、ワクワク半分不安半分で、けれど、事前の説明会でアメリカの文化やお金のことなどを丁寧に説明していただいたおかげで、迷いなく準備を進めることができ、滞在中に不便を感じたことは特になかったと思います。

アメリカのことを一言で表すなら「何もかもが高い」建物も、コミュニケーション能力も、身長も、物価も。景色なども日本とは全然違うので、まるで別世界にきたような感覚でした。夜の街並みは、建物の明かりがとても眩しくて、昼間のようにキラキラしていました。

ニューヨークの街を見て回った2、3日目は、建物を見上げすぎて首が痛くなりました。アメリカは地震が少なからしく、古い建物がたくさん残っていました。外国の映画でしか見たことがないようなレンガでできた外壁を眺めたり、石畳の上を歩いたりする感覚は、直接アメリカに行かないと味わえない素敵な体験だったと思います。4日目の夜からニューポートでお世話になったホストファミリーのカイムズさん一家はとても優しい方たちでした。私たちが英語を聞き取れないときはゆっくり言い直してくれたり、翻訳機を使ったりして、積極的に私たちとコミュニケーションを取ろうとしてくれたことが印象に残っています。自撮りが大好きだと言っていて、家や外出先でたくさん写真を撮りました。

初めは言葉が通じないことがとても怖かったですが、単語だけでもいいから自分の思っていることを進んで伝えることが大切だと気づきました。今回の訪問を通じて、海外とのつながりがある職業にも興味湧き、自分の将来を改めて考えるきっかけになったと思います。貴重な機会をありがとうございました。



つのみまみ
言央さん

「自らコミュニケーションを取ろうとする姿勢を大切にしたい。」私はそう言って訪問先へ出発しました。しかし、心のどこかに初めて訪れる国で、うまくコミュニケーションを取れるかという不安がありました。実際にドラッグストアで初めて買い物をした時には、店員さんの言葉が聞き取れなかったことなど、うまくいかないことが多くありました。しかし、次第に新たな気づきが生れました。例えば話すときに発音を意識すると伝わりやすかったです。英語で話しているつもりでも、日本語の発音だと伝わらないことがありますが、単語ひとつでも発音を少し意識すると自分の思いを伝えることができました。そのようなときに強く感じたのが、伝えようとする気持ちの大切さでした。

この気づきを活かし、ニューポート市立大学で自己紹介と下田中学校についてのスピーチをしました。すると、その後の昼食のとき、大学生の方が、自己紹介で話したピアノについて話しかけてくださり、伝わっていることが実感できてとても嬉しくなりました。ニューポートでは2日間ホームステイをしました。知っているだけでも靴のまま家の中に入ることへ抵抗を感じたり、食前に「いただきます」と言わないことから、いつ食事を始めてよいか迷ったりし、日本との文化の違いを肌で感じました。しかし、ホストファミリーはその違いをそのまま受け入れてくれました。そのおかげで、自分自身も違うことが当たり前だと感じられるようになり、その違いも新たな発見として吸収できるようになりました。

インターネットで調べればどのようなこともわかってしまうように感じられる現在、このような人との関わりは、実際に体験しないとわからないことだと思っています。たくさんのお話を生で見えて、体験できた8日間はとても貴重な経験でした。今回学んだたくさんのお話を今後の学習や未来へと活かしていきたいです。



なかむらゆな
羽南さん

私は今回のアメリカ訪問で、初めて経験することがたくさんあり、とてもワクワクしました。日本から出て飛行機に乗ることなど、全てが初めてでした。英語を話すことができるかとても不安で緊張しましたが、行ってみるととても楽しかったです。

約12時間のフライトを終え、ニューヨークに着くと、日本とはまるで違う景色に驚かされました。高層ビルが並び、人が数えられないくらいたくさんいました。歩行者の信号が横向きだったり、車が右側通行で、左ハンドルだったり、小さな違いもたくさん見つけることができました。

私がニューヨーク市内で印象に残ったことは2つあります。一つ目はニューポート市立大学に行き、下田市との関わりがあることを知ったことです。下田の玉泉寺の資料など、ハリスさんと下田市の関係にまつわる資料がいくつかありました。2つ目は、自由の女神像を見たことです。実際に船に乗り、自由の女神のある島に行きました。その後、自由の女神ミュージアムに行き、体のパーツの大きさだけでなく人の2倍以上の高さがあり、びっくりしました。ニューヨークの観光が終わわり、下田市と姉妹都市であるニューポート市に向かいました。ニューポートでは、ホストファミリーの家に2日間滞在をしました。はじめは日本語が使えない状態で不安でしたが、ホストファミリーはなるべく簡単な英語をゆっくりと話してくれたので、わかりやすかったです。難しい単語が聞き取れなくて困っていたときには、翻訳を利用して教えてくれたのでとても助かりました。

私の将来の夢はまだ確実には決まっていませんが、英語が好きなので、このアメリカに行った貴重な体験を活かして、英語を使った職業に就きたいと考えています。このような機会をあたえてくださった下田市に感謝します。ありがとうございました。



なかむらあきら
空朗さん

12時間という長い空の旅を終えて空港に着きました。日本を夜に出発しましたが、アメリカに着いた時、また同じ日の夜だったのが変な感じがしました。その日は、店に行って水を買ってホテルに戻って就寝しました。深夜3時に起きてそこから全く眠ることができませんでした。

次の日から3日間ニューヨークに滞在しましたが、その中でワールドトレードタワー跡地は、とても印象に残っています。20年以上前に起きた9・11のテロがあった場所でも知っているような場所でした。その跡地には水が流れていました。これはビルが火事になった時、炎によって亡くなってしまった人たちの追悼の意味があることを知り、悲しい気持ちになりました。また、自由の女神を見に行き、メトロポリタン美術館を訪れました。美術館は驚くほど大きく、1日では見学できないような大きかったです。

4日目の午後にニューポートに行きました。雰囲気は下田に似ていましたが、街並みはアメリカで不思議な感じがしました。その日から、ホームステイで日々を過ごし、夕食には日本では売っていないような大きさのピザを食べました。次の日は、トンブソンミドルスクールを見学に行き、アメリカの学校を訪れることは初めてだったので、とてもわくわくしました。市長さんにもお会いしましたが、若くて穏やかな雰囲気の方で話しやすかったです。翌日にペリー提督の墓地にお参りに行きましたが、日本のお墓と異なり、柵に覆われてとても大きく、驚きました。

何もかもが新鮮で、とても貴重な体験でした。このような機会をいただいたのも、下田市の皆様のお陰と感謝しております。この経験を今後の進路に生かして頑張っていきたいと思っています。



なかむらあきら
市長

西暦1854年の下田を、誰も見たことの無い軍服のアメリカ人が闊歩したとき、市井の人々の驚きと好奇は計り知れないものがあったでしょう。情報化社会においてはそれほどではないにしろ、下田中学校の生徒4名にとっての初のアメリカ本土上陸は、異国・異文化に五感で浸かる事となりました。日本開国の歴史を縁とするニューポート市とニューポート市との交流訪問は、多民族国家を、アメリカ文化を、自由を勝ち取る闘いの歴史を、それからの国の成り立ちを、教育現場の違いを、ニューポート市という友人の温かさを肌で感じる有意義な旅でした。同時に生徒らは、日本という国の美しさや文化的豊かさを、日本人の笑顔とサービスの良さを、下田市の歴史的価値等々、これまで意識しなかった「日常」を再認識した事でしょう。それをサポートしてくれた現地ガイドが秀逸でした。マンハッタンと建国の歴史、美術館からブルックリンとウォール街散策まで、興味深く、わかりやすく、深く解説してくれた事に感謝いたします。

多民族国家であるアメリカでは私たち「アジア系」は特別視されず、また英語がしゃべれて当然という接し方です。生徒らは今、自我に目覚め始めた多感な思春期。アジア系で日本人というマイノリティに置かれた時に、初めて人種や国家を自覚させられたに違いありません。それは自分自身を理解し、自分は何者であるか、将来どうありたいかを考えるきっかけとなったはずですが、かといって必ずしも特別な何かなれと望むものでもありません。この経験を自分の何とするかは自分次第。でも出会った人との絆は生涯大事にして欲しいと、それが団長としての願いです。

私は此度の4名と下田を代表して訪問できたことを宝物とし、成長を見守ります。最後に、皆が協調性と自主性を持って行動してくれた事に感謝します。また訪問の企画・調整サポートをしてくれた全ての内外関係者に心より感謝申し上げます。